

製品安全データシート

1, 化学物質等及び会社情報

製品名 焼ミョウバン

作成日 2019 年 10 月 07 日

会社名 東工薬株式会社

本社住所 〒340-0813 埼玉県八潮市木曽根 744

●連絡先及び緊急連絡先

担当部門 SDS 作成担当

担当住所 〒340-0813 埼玉県八潮市木曽根 744

電話番号 048-996-9235 FAX 番号 048-997-2597

2, 危険有害性の要約

【GHS 分類】 ¹⁾

健康に対する有害性

皮膚腐食性／刺激性 : 区分 3 (国連 G H S 分類)

眼に対する重篤な損傷性 / 刺激性 : 区分 2 A

※上記以外の危険有害性は、「分類対象外」「区分外」「分類できない」。

【GHS ラベル要素】

【GHS 絵表示】



【注意喚起語】

●警告

【危険有害性情報】

●軽度の皮膚刺激

●強い眼刺激

【注意書】**●安全対策**

- ・ 取扱い時は、保護眼鏡・防塵マスク・保護手袋を着用すること。
- ・ 次亜塩素酸塩類との混合は避けること。（塩素ガスが発生するため）
- ・ 少量の水を加えると発熱するため、火傷に注意すること。
- ・ 取扱い後は、手洗い・洗顔・うがい等を十分に行うこと。

●救急処置

- ・ 皮膚に付着した場合、流水及び石鹼を用いて付着部を洗い流すこと。
- ・ 刺激が続く場合は医師の診断・手当てを受けること。
- ・ 眼に入った場合、清浄な水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、刺激が無くなるまで洗浄を続けること。刺激が続く場合は、医師の診断・手当てを受けること
- ・ 吸入した場合、水でうがい後、新鮮な空気の場所で、呼吸しやすい姿勢で休息すること。気分が悪い時は、医師の診断を受けること。
- ・ 飲み込んだ場合、水で口の中を洗浄し、コップ1～2杯の水または牛乳を飲むこと。気分が悪い時は、医師の診断を受けること。
- ・ その他異常が生じた場合、直ちに医師の手当てを受けること。

●保管

- ・ 直射日光や高温高湿を避けて倉庫内に保管すること。
- ・ 水漏れした場合、金属を徐々に腐食するため、水漏れに注意すること。
- ・ 臭いを吸収しやすいので、臭いのあるものの近くは避けて保管すること。

●廃棄

- ・ 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託して廃棄すること。

3, 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別：化学物質

化学名又は一般名：硫酸アルミニウムカリウム乾燥（焼ミョウバン）

化学式： $\text{AlK}(\text{SO}_4)_2$

CAS No：10043-67-1

濃度又は濃度範囲：97.5%以上

官報公示整理番号：1-25、1-454

4, 応急措置

- 吸入した場合：水でうがい後、新鮮な空気のある場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息する。気分が悪い時は、医師の診断を受ける。
- 皮膚に付着した場合：流水及び石鹸を用いて付着部を洗い流す。
- 眼に入った場合：清浄な水で数分間注意深く洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、刺激が無くなるまで洗浄を続ける。刺激が続く場合は、医師の診断・手当を受ける。
- 飲み込んだ場合：水で口の中を洗浄し、コップ1～2杯の水または牛乳を飲む。気分が悪い時は、医師の診断を受ける。

5, 火災時の措置

消火剤：不燃性のため周辺火災に適合した消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤：特になし。

特有の危険有害性：高温で分解する際、硫黄酸化物を発生する。

消火を行う者の保護：火災の種類に合った保護具を着用する。

6, 漏出時の措置

人体に対する注意事項・保護具及び緊急時措置

：漏出時の処理を行う際には、保護具（8項）を着用する。

環境に対する注意事項：河川・水田等への漏出を防止し、一般市民・水棲生物への影響が懸念される場合には、直ちに関係官庁・供給者に連絡する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

：漏出物は出来る限り掃き集めて空容器に回収する。回収不能分については、消石灰・炭酸カルシウム・ソーダ灰等を用いて中和後、多量の水で洗い流す。

7, 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策：粉塵が発生しやすいため、局所排気または全体換気を行う。

安全取扱注意事項：接触・吸入防止のために保護具（８項）を着用する。

少量の水を加えると発熱するため、火傷に注意する。

濡れた手で触らない。

接触回避：次亜塩素酸塩類（次亜塩素酸ソーダ・漂白剤・サラシ粉・カルキ等）と

混合・接触すると有毒な塩素ガスが発生するため、混合・接触を避ける。

水漏れにより、固化することがある。また、金属を徐々に腐食するため、水漏れを避ける。

臭いを吸収しやすいので、臭いのあるものの近くは避ける。

衛生対策：取扱い後は、手洗い・洗顔・うがい等を十分に行う。

保管

安全な保管条件：直射日光や高温高湿を避けて倉庫内に保管する。

水漏れした場合は、金属を徐々に腐食するため注意する。

安全な容器包装材料：湿気を避けて密閉できる耐酸性容器を使用する。

8, 暴露防止及び保護措置

許容濃度：日本産業衛生学会勧告値²⁾ 記載なし

： A C G I H 勧告値 ³⁾ 該当なし

施設対策 ： 排気装置・安全シャワー・手洗い・洗眼設備等を必要に応じて設置する。

保護具

呼吸用保護具 ： 一般型防塵マスクを着用する。

手の保護具 ： 耐酸性用手袋を着用する

眼の保護具 ： 保護眼鏡を着用する。

皮膚及び身体の保護具： 必要に応じて長袖作業着等の保護着を着用する。

9, 物理的及び化学的性質

外観 ： 白色の粉末または顆粒

臭い ： なし

p H ： 約 3. 6 （1 %水溶液）

融点 ： データなし

沸点 ： データなし

引火点 ： 不燃性

燃焼又は爆発範囲 ： データなし

蒸気圧 ： データなし

比重（密度） ： 約 2. 7

溶解度 ： 水に徐々に溶ける。エタノール等にはほとんど溶けない

n-オクタノール／水分配係数： データなし

自然発火温度 ： 不燃性

分解温度 ： 約 6 5 0 °C

その他 ： 空気中の水分を吸収して $\text{AlK}(\text{SO}_4)_2 \cdot 12\text{H}_2\text{O}$ に近づく。

10, 安定性及び反応性

反応性 : 水溶液は酸性を呈し、アルカリ添加により pH を上げると白濁し、沈殿物を生成する。

化学的安定性 : 通常取り扱い条件では安定している。

危険有害反応可能性 : 次亜塩素酸塩類（次亜塩素酸ソーダ・漂白剤・サラシ粉・カルキ等）と混合・接触すると、有害な塩素ガス（ Cl_2 ）を発生する。

避けるべき条件 : 水溶液は弱酸性のため、鉄等の酸性腐食容器は使用しない。

混触危険物質 : 次亜塩素酸塩類（次亜塩素酸ソーダ・漂白剤・サラシ粉・カルキ等）

危険有害な分解生成物 : 加熱により 650°C 付近より有毒な硫黄酸化物が発生する。

11, 有害性情報

急性毒性 : データなし

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

: 軽度の刺激性がある。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

: 強い刺激性が有る。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

: データなし

生殖細胞変異原性 : データなし

発がん性 : データなし

生殖毒性 : データなし

特定標的臓器毒性、単回ばく露

: データなし

特定標的臓器毒性、反復ばく露

: データなし

吸引性呼吸器有害性 : データなし

12, 環境影響情報

生態毒性 魚毒性 : データなし

分解性 : 加水分解により水酸化アルミニウムを生成する。

生体蓄積性 : データなし

土壌中の移動性 : データなし

オゾン層への有害性 : データなし

13, 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 水に溶解後、消石灰・炭酸カルシウム・ソーダ灰等を加えて中和した後
廃棄する。

廃棄の際は「廃棄物処理法」「水質汚濁防止法」等の関係法令を順守する。

汚染容器及び包装 : 水洗いした後、関係法令を順守して適切に廃棄する。

14, 輸送上の注意

国際規制 : 該当しない

国内規制 陸上輸送 : 該当しない

海上輸送 : 原則として、海域において船舶から排出してはならない。

航空輸送 : 該当しない

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策

: 取扱い及び保管上の注意（7 項）を守り、包装袋の破袋・水漏れ・荷崩れに注意する。

15, 適用法令

労働安全衛生法	： 施行令第 18 条、別表第 9 「アルミニウム水溶性塩」 （表示対象物、通知対象物、リスクアセスメント対象物）
水質汚濁防止法	： 施行令第 3 条の 3 「アルミニウム及びその化合物」（指定物質）
食品衛生法	： 施行規則第 12 条、別表第 1 「人の健康を損なう恐れのない添加物」
主な適用外法令	： 毒物劇物取締法、化学物質排出把握管理促進法（P R T R 法）、消防法、 海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律、高圧ガス保安法

16, その他の情報

参考文献

- ・ JIS Z 7253(2012)「G H S に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル、作業場内の表示及び安全データシート（S D S）」
 - 1) 社内データ
 - 2) 日本産業衛生学会雑誌 許容濃度等の勧告
 - 3) A C G I Hー化学物質と物理因子の T L V ・化学物質の B E I

コメント

記載内容は当社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。全ての化学製品には未知の有害性が有り得るため、取扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願いいたします。特別な取扱いをする場合には、新たに用途、用法に適した安全対策を実施の上でご使用下さい。